特定非営利活動法人 雷保護システム普及協会　　2005 年 12 月 8 日発行

LPSRA会報

Lightning Protection System Research Association

No.5

民間資格「避雷設備技能士」講習会開催

去る、11 月 11 日（金）に兼ねてより準備を進めてまいりました「避雷設備技能士」講習会の第 1 回をようやく開催することが出来ました。当初の予定よりも遅れての開催になりましたが、何とか終了しましたことをご報告いたします。

講習会終了後、受講者から寄せられました意見や関係者からの意見等を十分検討して第 2 回以降の講習会をより充実させて実施したいと思っています。講習会の詳細は、普及協会ホームページでご覧下さい。

講習会は国土交通省の後援で実施する事が出来ました。

以降開催する「避雷設備技能士」講習会も、国土交通省の後援が得られる予定となっています。

今後、出来るだけ早い機会に、「内部設備の雷保護」に係る法律の所管官庁である、経済産業省の後援も受けての実施実現に努力したいと思っています。

（会場：全日電工連会館）

これまで、講習会の実施を共催する方向で協議を重ねてきました全日電工連からは、講習会の中身のチェックを兼ねた 11 名の青年部役員の出席がありました。

近日中に今後の対応についての解答が頂けることとなっています。

今回の受講者数は 28 名でした。全日電工連関係者以外の 17 名の方は、当協会からの案内やオーム社で発行する電気関係の月刊誌の記事等から当協会ホームページを通じての参加者で、遠くは沖縄を始め全国各地からの参加でした。

全日電工連との共催の話が整い次第第 2 回以降の開催計画の検討に入る予定です。

避雷設備の検査及び保守点検実技の様子
受講者に実際に検査機器を試してもらう

★　記念すべき第１回講習会担当講師の皆さんを、講義の順に紹介します。

講師
磯川　千秋　　(株)サンコーシャ
三木　常一　　東京避雷針工業(株)
嶋田　章　　(株)村田電機製作所
大味　昭夫　　（株）昭電
（敬称略）

この他、今後の講習会の講師を順次担当していただく予定の、テキスト作成を担当していただいた、他の BSS 委員会の皆さんにも、今後の講義内容のレベル化のために、最後まで出席していただきました。

避雷設備の検査及び保守点検実技の様子

第１回講習会受講者にお願いしたアンケート調査結果の一部紹介

受講者にお願いしたアンケート調査のうち、講習に関する「意見・要望・その他」の項に記載された事項を紹介します。

・座学と保守点検の実技を日を分けても少し時間をかけたほうが良いのでは。
・期待している程の内容ではなかった。
・今後、我々に対してどのような情報を流していただけるのか。又 3 年後の更新時期が来た時にどのようになっているのか。
・今後の協会運営に期待します。
・規格等の解釈を詳しく説明して欲しい。
・今後、技術改革〈変更〉が有った場合、そういったことを教えていただけるのか。
・講習時ページ数の案内があってもいいと思う。
・内部設備が解り難かった。難しかった。
・避雷設備のアプローチ（顧客へ）が理解されにくそう。

＊　以上の各意見ついては、BSS 委員会でコンセンサスを取り受講者宛に回答する予定です。

＊　普及協会業務推進支援委員会主催
「第１回　普及協会活動支援チャリティーゴルフコンペ」の報告

今年度当初に設置されました「普及協会業務推進支援委員会」殿には、普及協会活動に必要な資金調達の目的でチャリティーゴルフコンペを計画・主催して頂きました。

コンペは、久間理事長のご配慮で、市原市の「ニュー南総ゴルフ倶楽部」を１日借切り、盛大に開催されました。

当日は小春日和の好天に恵まれ、22 組 91 名（男性：89 名、女性：2 名）の皆さんに参加いただき、楽しく和やかにコンペを終了する事ができました。

協議終了後、クラブハウス内でパーティと表彰式が行われました。表彰は、新ペリア方式による順位で行われ、主催者が準備した賞品と皆さんから寄せられた賞品が理事長から順次授与されました。

ちなみに１位の高橋祐司氏のスコアは、グロス：７９・ネット：６９．４のハイレベルでした。

後日、主催者より多額の支援金を寄贈していただきました。ご多忙中のところ、快くごコンペに参加頂きました皆様並びに支援委員会殿に心より御礼申し上げます。

ホームページ　OPEN

「避雷設備技能士」講習会の実施にあたり、現行のホームページをリニューアルいたしました。皆様、ご覧いただきましたでしょうか。本来は、トップページの稲妻をクリックすると稲光が走ることになるはずでしたが・・・　稲光が走るのではなく爆発のようになってしまい、ＯＰＥＮまでに間に合わず現在に至っております。年内中には、動くトップページになる予定です。

今後の「避雷設備技能士」講習会日程や雷相談室の開設などホームページを充実させていきたいと思っております。

◆◆前号以降の普及協会の主な動き◆◆

日付	内　容	場　所	参加者
8 月　1 日(月)	全日電工連（打合せ）	全日電工連会館(会議室)	横田
8 月 12 日(金)	業務実行基準検討委員会（BSS）	渋谷東宝ビル（会議室）	内部委員会
8 月 24 日(水)	業務実行基準検討委員会（BSS）	渋谷東宝ビル（会議室）	内部委員会
9 月 12 日(月)	協会ホームページ OPEN		
9 月 13 日(火)	業務実行基準検討委員会（BSS）	渋谷東宝ビル（会議室）	内部委員会
11 月　1 日(火)	業務実行基準検討委員会（BSS）	渋谷東宝ビル（会議室）	内部委員会
11 月　7 日(月)	普及協会活動支援ゴルフコンペ	ニュー南総ゴルフ倶楽部	協会支援者
11 月 10 日(木)	全日電工連（打合せ）	全日電工連会館(会議室)	横田・山口
11 月 11 日(金)	「避雷設備技能士」講習会	全日電工連会館(会議室)	

★★★事務局からのお知らせ★★★

＊　普及協会業務推進支援委員会（三木常一委員長）より、**￥1,280,475** の寄付を頂きました。皆様のご支援ご協力に深く感謝しております。ありがとうございました。

＊　東京事務局は **12 月 28 日（水）～1 月 9 日（月）**まで年末年始休暇とさせて頂きます。

編集後記

雷保護システム普及協会は去る 11 月 7 日で、発足後 2 年が経過しました。
　発足当初、３年間で協会存続の目途が立てられないと将来展望は開けないだろうと話しあわれたものです。２年が経過して間もなくの１１月１１日に、第１回「避雷設備技能士」講習会を曲がりなりにも開催する事ができました、しかしながら引き続いて開催する予定は未だ確定していません。
　しかし講習会に関しては、第 1 回開催から国土交通省の後援を得る事ができ、今後も各講習会に後援を得る事ができる予定となっていますが内部設備の雷保護に関連して、経済産業省の後援が早期に受けられるように努力する必要があります。
　普及活動として計画した講習会は、既に本年 3 月東京及び京都の 2 会場で実施しましたが、両会場あわせて 100 余人の参加者にとどまり経費は赤字となりました。教会の財政事情から「避雷設備技能士」講習会が軌道に乗り事業収益が見込めるまでの間、普及活動としての講演会は休止しています。
　普及活動は、避雷設備技能士の活動分野の開拓のためにも中止する事はできない事から、スタンスを変え、講演会開催見積書を添えて各地の新聞社他等宛に講習会の開催の必要性を呼びかけていますが未だ反応がありません。
　本年度末の来年 3 月までの間に、普及協会の基本的な事項について徹底的な再検討を行い新年度に備える必要があるようです。
　皆様には、本年も雷保護システム普及協会をご支援いただきまして誠に有難うございました。どうぞより良き新年をお迎え下さい。来年も皆様のご理解とご支援を頂きますよう宜しくお願い致します。

（横田　満人）

　１１月が暖かかったせいか 12 月に入り寒さが身にこたえます。今年一年は普及協会にとって本格的な活動の年だったのではないでしょうか。３月の京都・東京の講演会、「避雷設備技能士」講習に向けてのテキストの作成、そして講習会と・・・私も、普及協会にお世話になってから一年が経ちこれらの業務に携わりいろいろな経験をしました。来年はこの経験を活かしてよりスムーズな対応が出来るようにしたいと思っております。来年もご支援の程、宜しくお願い致します。
　皆様、よい新年をお迎え下さい。

（山口　理佳）

LPSRA会報

Lightning Protection System Research Association

No.4

特定非営利活動法人 雷保護システム普及協会　　2005 年 7 月 31 日発行

暑中お見舞い申し上げます。

盛夏の候となりましたが皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

「避雷設備技能士」の研修開始に向けて、関係者一同がんばっております。この研修に使用するテキストの準備はBSS委員会で今年度初めから鋭意進められてきました。委員の皆さんは年度始めから、月に2～3回の打ち合わせ会議、その結果を持ち帰っての原稿の執筆や訂正の繰り返しでした。

現在、10 月上旬に東京会場において開催する第一回講習会に向けて、原稿の校正も最終段階となっています。この広報が皆様に届く頃には、テキスト印刷の手配も進捗していることと思います。

研修は、落雷日数の多い地区を優先して全国の都道府県で順次開催する予定です。

受講対象者は、講習会の共催者「全日本電気工事業工業組合連合会」及び同じく共催者で当協会の賛助会員を中心に設置された「雷保護システム普及協会活動推進支援委員会」に所属又は関係の深い電気関係資格者を主たる対象者として、受講者 1 会場 60 人定員で募集し実施の予定です。近日中に募集要項も完成する運びとなっています。

講師は、テキスト執筆・編集等を担当していただいた BSS 委員会委員の皆さんに引き続きお願いすることとなっています。

各位におかれましては暑さの厳しい折から健康に留意されますますのご活躍をされますよう祈念いたします。

第２回通常総会は、去る６月 24 日（金）に久間章生理事長をはじめ各役員・会員の計１０名出席で開催されました。冒頭、久間章生理事長は「これまで雷害防止活動を繰り広げてきたが、雷保護システムの普及に関しては残念ながら目に見える成果は上がっていないのが現状ではある。IT 社会が進む中で雷害に対しての知識を広めることは急務であり、協会の活動を推進していかなければならないが、活動するにもお金が掛かりそれに対しての準備が足りなかったのではなかろうか」とあいさつをしました。その後、以下の報告書ならびに議案が各担当役員から行われ、いずれも各役員・会員一致で承認されました。

1. 平成 16 年度事業報告書
2. 平成 16 年度決算報告書
3. 平成 17 年度事業計画予算書
4. 雷保護システム普及協会活動推進支援委員会設置要綱

総会後の懇親会の様子

【平成 16 年度事業報告書】

1. 会議に関すること

1） 通常総会

平成 15 年度は組織の立ち上げ期間で、活動期間が極めて短期間であったため、平成 16 年 3 月 2 日に開催した理事会兼総会において、平成 15 年度事業報告及び平成 15 年度収支決算の承認と平成 16 年度事業計画及び平成 16 年度収支計画の説明を実施した。

2）理事会

平成 16 年 3 月 2 日開催を含めて 2 回開催

開催日：平成 17 年 3 月 25 日

1．法人の業務に関すること

1） 成 16 年 6 月 1 日付けで、「雷保護システムに関する調査委員会報告書」の作成業務を、社団法人　電気設備学会と業務委託契約を締結した。

（社）電気設備学会は直ちに「雷保護システムに関する調査委員会」を設置し業務を開始し、平成 17 年 2 月末に報告書を取り纏め、報告書を納入した。

2）　普及活動に用いる冊子の取り纏めは、高橋理事を委員長として、法人内に設置した「調査研究委員会」において、（社）電気設備学会の業務の進捗状況に沿って、業務を実施し、平成 17 年 3 月中旬に「ＩＴ社会と雷保護システム」5,000 部の印刷製本を終了した。

3）　「ＩＴ社会と雷保護システム」を使用した、普及活動としての講演会は高橋理事に講師を依頼して、平成 17 年 3 月 28 日に京都会場日引き続き 3 月 31 日に、東京会場で参加費 2,000 円／人で開催した。受講者は、京都会場 39 名・東京会場 59 名であった。

3. 広報に関すること

正会員、賛助会員等の関係各位に、当法人の諸活動や動きを伝える「会報」の発行が急がれていましたが、漸く、平成 16 年 10 月 15 日付けで 1 号を送付出来ました。以降、3 ヶ月に 1 回の発行を続けています。

4. 会員増に関すること

正会員、賛助会員、各位の寄付金を資源として当法人の活動基盤の整備や当面の活動の推進をスムーズに行う為には、更なる諸会員の増が必要です。

平成 16 年度は、理事長の紹介による各位に出向き、当協会に対する理解と賛助をお願いしました。結果、平成 16 年度末現在での会員数は、正会員 21 人（内、個人 7・団体 14）賛助会員 7 人（内、個人 6／団体 1）寄付者 1 人となりました。

【雷保護システム普及協会活動推進支援委員会設置要綱】

（目的）
第 1 条　正会員と賛助会員が協働して法人設立の諸目的を達成するため、幅広い観点から雷保護システム普及協会（以下「協会」という）諸活動の推進等について、外部的に評価、審議及び提言を行うことを目的に、協会活動推進支援委員会（以下「委員会」という）を設置する。
（所掌事項等）
第 2 条　委員会は、次に掲げる事項について意見等を取り纏め、理事長に報告するものとする。
1）定款及び理事会で決議した年次計画に基づく事業の評価及び審議に関すること。
2）協会を取り巻く関連業界等の諸情勢の変化に即応した、新たな協会活動の推進策の研究及び提言に関すること。
3）前 2 号に掲げるもののほか、前条に規定する目的を達成するために必要な事項。

（組織）
第 3 条　委員会は、委員 10 人程度で組織する。
2.　委員は、次に掲げる者の内から理事長が委嘱する。
2）助会員
3）員会の推薦する関連業界等の経験者及び学識経験者
4）1 号及び前 2 号に掲げる者のほか、理事長が必要と認める者
5）員会には協会を代表し 1 名の調整役が出席する
（委員の任期）
第 4 条　委員の任期は、2 年とし、再任されることが出来る。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
（委員長及び副委員長）
第 5 条　委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。
2.　委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
3.　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する.
（会議）
第 6 条　委員会の会議は、委員長が招集する。
2.　委員長は委員会を招集し事案の審議を行い、また必要があると認めるときは関係者の出席を求め意見を聴き、評価、審議及び提言の参考に資するものとする。
（会議の公開）
第 7 条　委員会の会議は、原則として公開により行い、委員以外の多様な意見を聴き、評価及び審議の参考に資すものとする。
（庶務）
第 8 条　委員会の庶務は、協会東京事務局において行う。
（委任）
第 9 条　この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附則
1.　この要綱は、平成 17 年 4 月 15 日から施行する。
2.　この要綱による最初の会議は、第 6 条第 1 項の規定に関わらず、理事長が召集する。

【平成 16 年度決算報告書】

決算報告書　第 2 期

自　平成 16 年 4 月 1 日　至　平成 17 年 3 月 31 日

【財産目録】

資 産			
	小口現金	57,756	
	普通預金（東京）	762,442	
	普通預金（京都）	68,895	
	未収入金（年会費）	20,000	
	資産合計		909,093
負 債			
	未払金	79,742	
	前受金（年会費）	40,000	
	預り金（社会保険料）	14,536	
	仮受金（講演会）	4,000	
	負債合計		138,278
	正味財産		770,815

【貸借対照表】

資 産		負 債	
小口現金	57,756	未払金	79,742
普通預金（東京）	762,442	前受金	40,000
普通預金（京都）	68,895	預り金	14,536
未収入金	20,000	仮受金	4,000
		正味財産	770,815
	909,093		909,093

【収支計算書】

支 出		収 入	
事業費	3,770,583	会費収入	4,090,000
管理費	9,059,684	寄付金収入	9,000,000
		講演会収入	164,000
当期収支差額	423,780	受取利息	47
	13,254,047		13,254,047

事業費内訳		管理費内訳	
雑給	60,000	給与手当	5,683,400
旅費交通費	420,440	雑給	20,000
通信費	125,620	賞与	250,000

会議費	140,119
事務用品費	3,404
新聞図書費	21,000
外注費	3,000,000
合　計	3,770,583

法定福利費	267,922
旅費交通費	13,540
通信費	217,895
交際費	8,750
地代家賃	2,250,000
租税公課	9,000
事務用品費	233,659
支払手数料	27,960
諸会費	60,000
雑費	17,558
合　計	9,059,684

【正味財産処分案】

科　目	金　額
当期正味財産	423,780
前期繰越正味財産	347,035
次期繰越正味財産	770,815

上記のとおり、ご報告申し上げます。

平成 17 年 5 月 31 日

特定非営利活動法人　雷保護システム普及協会
理事　久間　章生

◆◆前号以降の普及協会の主な動き◆◆

日付	内　容	場　所	参加者
5 月 13 日(金)	業務実行基準検討委員会（BSS）	渋谷東宝ビル（会議室）	内部委員会
6 月 10 日(金)	業務実行基準検討委員会（BSS）	渋谷東宝ビル（会議室）	内部委員会
6 月 24 日(金)	第 2 回　通常総会	KKR ホテル東京(葵の間)	理事･正会員
6 月 29 日(水)	業務実行基準検討委員会（BSS）	渋谷東宝ビル（会議室）	内部委員会
6 月 30 日(木)	業務実行基準検討委員会（BSS）	渋谷東宝ビル（会議室）	内部委員会
7 月 7 日(木)	全日電工連（打合せ）	全日電工連会館(会議室)	横田
7 月 21 日(木)	全日電工連（打合せ）	全日電工連会館(会議室)	山口
7 月 22 日(金)	業務実行基準検討委員会（BSS）	渋谷東宝ビル（会議室）	内部委員会

【新規賛助会員のご紹介】

株式会社　昭電　殿
避雷針検査管理共同組合　殿

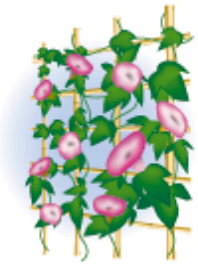
今後、講演会や講習会などいろいろな面でご協力を頂ける事になりました。

★★★事務局からのお知らせ★★★

＊　東京事務局は　8 月 15 日～19 日　まで夏期休暇をさせていただきます。

（編集後記）

広報第 4 号は、去る 6 月 24 日に開催されました普及協会総会において承認されました「平成 16 年度事業報告および決算報告」を中心に編集しました。
発足以来 21 ヶ月となりましたが、各年度当初の計画が必ずしも順調に進捗していないのが事実です。原因を探すより少しでも前進する努力と考えていますが…
本年度から京都事務所の家賃等を当分の間、従来の半額でお願いし了承を頂きました。東京事務所の家賃は規定額約額の約半額でお願いしている実態です。
でも、こんな中で BSS 委員会での三木大先輩の大きな声を聞くと少し元気の出る昨今です。



（副理事長　横田満人）

LPSRA会報

Lightning Protection System Research Association

No.3

特定非営利活動法人 雷保護システム普及協会　　2005 年 4 月 30 日発行

新年度を迎えて
平成 17 年度事業計画のお知らせ

第 4 回定時役員会は、去る 3 月 30 日（水）に
　理事長　久間　章生・副理事長　横田　満人・理事　高井　裕右・理事　元山　善介・理事　齋藤　貢・監事　吉野　正三郎の各役員の出席で開催されました。
　以下の議案について審議が行われ、いずれも各役員一致で承認されました。

1．　平成 17 年度事業計画(案)について
2．　平成 17 年度予算計画(案)について
3．　平成 16 年度事業報告(案)について

　承認されました各議案は来る 6 月開催予定の総会において報告されることとなっていますが、そのうち「平成 17 年度事業計画」の主な事業の概要をご紹介いたします。

1)　講演会の実施

　今年度は、協会設立の大きな目的であります「市民や関係者の雷被害に対する正しい理解と対策の普及」を進める活動の一つとして諸準備を進めてきました「雷被害の実態と対策」に関する講演会を、今年度は全国各地で開催します。
　普及活動で使用するテキスト「ＩＴ社会と雷保護システム」の完成を受けて、3 月 28 日に京都会場で、引き続き 3 月 31 日には東京会場で講演会を実施しました。
　両会場での実施結果を踏まえて実施計画の再検討を行い、共催者等と実施計画を検討中です。

3 月 31 日：東京会場（南青山会館）で行なわれた講演会の様子。講師は当協会理事でもある工学博士の高橋健彦教授

3 月 31 日の講演会には久間理事長が冒頭の挨拶をしました。
（写真が見難くてスミマセン）

２）「避雷設備技能士」研修の実施

設置された「雷保護システム」の定期的な保守点検や設置者に対する日常的な対応者となる「避雷設備技能士」の研修を本年度から「全日本電気工事業工業組合連合会（以下、全日電工連)」と共催で実施します。

この研修で使用するテキストや教材の作成業務は「ＢＳＳ委員会」で鋭意実施中です。このＢＳＳ委員会は、普及協会で別に定めました「雷保護システム普及協会活動推進支援委員会設置要綱（以下、要綱)」にしたがって設置されました「業務実行検討委員会」の略称です。

この要綱は、普及協会の諸活動が常にその設立目的に沿って実施されているかどうかを、外部から検証評価し審議及び提言をいただく「外部委員会」を理事長が設置出来る規定です。

研修の対象者は「全日電工連」の単位会員に所属する電気工事士の皆さんで、研修終了後実施する「研修効果判定試験」に合格すると普及協会から「避雷設備技能士免許」が交付されます。　今年度の最終日程は８月中旬迄に決定する予定です。

3)「雷相談室」の開設と運用について

講演会やホームページの拡充、更に「避雷設備技能士」の地域への認知等によって普及協会への各位からの雷保護システムに係る相談や依頼等に答える目的で、東京事務局内に「雷相談室」を開設します。

質問や相談に対してはＢＳＳ委員会メンバーが中心となって対応しますが、相談内容に応じた適切な回答や対応を迅速に行うことを目標とします。

内容によっては有料での対応となることもあります。

当面は週一回の回答日を設けて運用し、将来的には 24 時間体制も検討する予定です。

（横田　満人）

賛助会員の募集について

特定非営利活動法人雷保護システム普及協会の諸活動は、正会員の会費、賛助会員の会費及び賛同者の寄付金で賄われています。

平成 17 年度は講演会実施、研修会のテキストや教材の整備、雷相談室の開設およびホームページの拡充による普及活動の促進等々の業務実施に相当額の先行投資的な出費が予想されます。

４月は年会費のお願いの月です。従来からご支援いただいています皆さんにはＡ会員からＢ会員への移行をご検討頂き、新たに賛助会員としての支援をお願いしています皆さん方には可能な限りＢ会員でのご賛助をお願いいたしております。

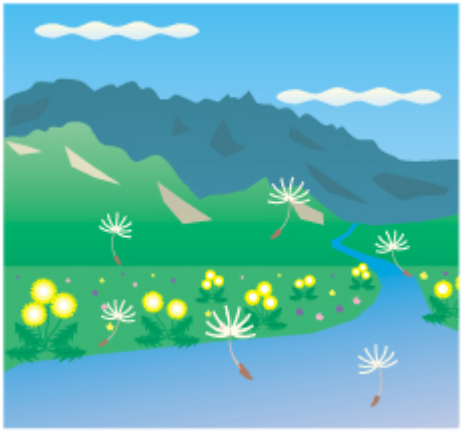
当協会の諸活動はすべてＮＰＯ法を遵守して実施しております。

現在ご支援頂いています各位におかれましては、お知り合いの同業者等関係者の皆様にお声がけ頂きますようお願いいたします。

（東京事務局）

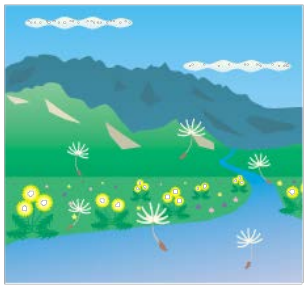
◆◆前号以降の普及協会の主な動き◆◆

日付	内　容	場　所	参加者
2 月　1 日(火)	全日電工連（打合せ）	全日電工連会館（会議室）	横田・山口
2 月　3 日(木)	雷保護システム調査研究委員会	建設通信新聞社(会議室)	内部委員会
2 月 15 日(火)	雷保護システム調査研究委員会	建設通信新聞社（会議室）	内部委員会
2 月 15 日(火)	業務実行基準検討委員会（BSS）	渋谷東宝ビル（会議室）	内部委員会
3 月　4 日(金)	雷	信新聞社（会議室）	内部委員会
3 月　4 日(金)	久	ホテル東京(松の間)	内部委員会
3 月 15 日(火)	業	宝ビル（会議室）	内部委員会
3 月 28 日(月)	京	動業館　「みやこめっせ」	京都事務局
3 月 30 日(水)	第	タル東急（星ヶ岡）	理事・監事
3 月 31 日(木)	東	会館（会議室）	東京事務局
4 月　6 日(水)	全	工連会館(会議室)	横田
4 月 15 日(金)	雷	宝ビル（会議室）	内部委員会
4 月 15 日(金)	業	宝ビル（会議室）	内部委員会
4 月 22 日(金)	業	宝ビル（会議室）	内部委員会
4 月 22 日(金)	全	工連会館（会議室）	横田



=今後の主な予定=

＊　「避雷設備技能士」の研修用テキスト完成（８月）
＊　ホームページのリニューアル
＊　講演会
＊　「避雷設備技能士」の研修



★ ★★事務局からのお知らせ★★★

＊ 前回（会報 2 号）で研修修了者の資格名は「避雷設備技能士」に決まりました。2）のところに記載されています。ご意見ありがとうございました。

＊ 4 月から新年度がスタートしておりますが、会員の皆様に「17 年度年会費納入のお願い」の通知発送が遅れまして申し訳ございませんでした。通知が遅れながら誠に恐縮ですが、5 月末日までにご入金頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

編集後記

各位の支援を頂いて、京都と東京での普及活動としての講演会を実施できました。
ご支援いただきました皆さんには心よりお礼申し上げます。
業務協力の申し入れを受けていただいた全日電工連の丸井事務局長・立田事務局次長さんには、講演会や研修会の実施等について色々と貴重な助言等を頂きご協力頂いています。
ＢＳＳ委員会の皆さんによる研修会用のテキストや教材の準備もいよいよ佳境となって、東京事務局での会議は朝から夕方までのスケジュールもあります。山口さんはてんてこ舞いの毎日です。

副理事長　横田　満人

雷保護システム普及協会の事務局員として昨年の 11 月よりお世話になっておりますが、早いもので半年が経ちました。この間にいろいろな方とお会いしたり、今まで知らなかった雷に関することなどたくさんの良い経験をさせて頂きました。まだまだ、ご迷惑をおかけするとは思いますが、宜しくお願い致します。
尚、今年度から新たな事業も始まりますが、まずはホームページの充実をと考えております。ご意見・ご要望がございましたらお聞かせ頂きたいと思いますので宜しくお願い致します。

E-mail:yamaguchi@lpsra.com　　東京事務局　山口　理佳

LPSRA会報

Lightning Protection System Research Association　**No.2**

特定非営利活動法人 雷保護システム普及協会　2005 年 1 月 20 日発行

1.　ご挨拶

皆様におかれましては新たな年を迎えられますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

特定非営利活動法人　雷保護システム普及協会（以下、普及協会という）発足以来二度目の新春を迎えることが出来ましたことは、ひとえに皆様のご理解とご支援の賜物と感謝いたしております。

発足以来の普及協会の活動に関しましては「どこで何をやっているのか？」との言葉を頂くこともありましたように大変地道な活動でありました。

この間、雷害に関する正しい認識と雷害防止対策必要性を広く国民の皆さんに理解して頂くための啓蒙活動に使用する冊子、現場で具体的な防雷対策を担っていただく技術者を養成する研修会で用いるテキストや教材等の準備を（社）電気設備学会の関係者各位及び普及協会内に設置しました調査研究委員会の皆さんにお願いして、おおよそ一年間、鋭意進めてまいりました。

また事務局においては、これから開始します啓蒙活動や研修活動の具体的な推進方策を検討してまいりました結果、「全日本電気工事業工業組合連合会」と業務協力して諸活動を進めて行くことで合意し、普及協会内に両協会担当者及び関連業界専門家等による「業務実行基準検討委員会」を設置し、各業務についての推進策等についての検討を進めているところです。

今年度中には、東京と関西で各一回、啓蒙活動としての講演会を開催し、新年度以降は年間落雷回数の多い地方順に啓蒙活動を実施するとともに、年度後半からは関係技術者養成の研修会を開始する予定です。

酉年の今年、普及協会はいよいよ「飛翔」の年と成りました。
今後とも普及協会に対しまして一層のご理解とご支援を頂きますようお願い申し上げご挨拶といたします。

平成 17 年 1 月

理事長　久間　章生

＊　業務実行基準検討委員会について

設置目的　：普及協会業務全般について具体的な実施要綱を協議し、理事会に提案し円滑な業務執行に資することを目的とする。
委員会　　：委員会は「業務実行基準検討委員会」とし、必要に応じて委員長が召集し開催する。
委員長　　：委員長は必要に応じて委員の増減を行うことができる。
委員会事務：委員会事務は東京事務局で行う。
委員会構成：委員会の構成は当面下記とする。

業務実行基準検討委員

委　員　長	三木　常一	
副 委 員 長	大味　昭夫	株式会社昭電
内部雷委員	磯川　千秋	株式会社サンコーシャ
	新井　慶之助	富士電機テクニカ株式会社
	志賀　悟	音羽電機工業株式会社
外部雷委員	臼井　幸彦	東京避雷針工業株式会社
	田中　阜	日本避雷針工業株式会社
	北島　清治	株式会社村田電機製作所
実施者委員	2 名	全日本電気工事業工業組合連合会
顧客側委員	1 名	国土交通省OB

2.　業 務 報 告

◆◆京都事務所活動報告◆◆

京都府内重要文化財の避雷針施工・点検・管理の現状

＊　避雷針施工と定期点検の補助制度

避雷針点検の補助金は文化財保護を目的とした補助金の一部であり、各自治体により避雷針に対する支給額は違い、京都の場合は一律1本1回　¥8,000 と計算し年 2 回行っております。

避雷針新設の場合の補助金率は、全国同じで寺院等の前年度収入により避雷針施工額の 50%～85%の補助金が支給されます。補助金の支給%は寺院等の前年度の収入で決まり、収入が多ければ支給%が下がり収入が少なければ多く支給されます。

＊　点検・施工業者現状調査

京都では、補助金対象事業 531 箇所を 12 社が行っています。補助金対象事業にもかかわらず点検審査基準がないので事業者の新規参入がしにくい。

京都府教育庁指導部（文化財保護建造物）担当者の話では、「今現在は大きな問題は起きていないが、中央の推薦受講など何かしらあれば全面的に協力いたします。」との事なので、中央からの受講の推薦とか何か頂ければと考えております。

現在、全国で約 3700 本の避雷針に対して文化財保護補助金が出ていますが、まだまだ多くの文化財に対して避雷針は設置されておりません。（詳細は調査中）

京都事務所では、現在、補助金制度を利用している施工業者・施工主を中心に雷保護システムの啓蒙活動を行いたいと考えております。

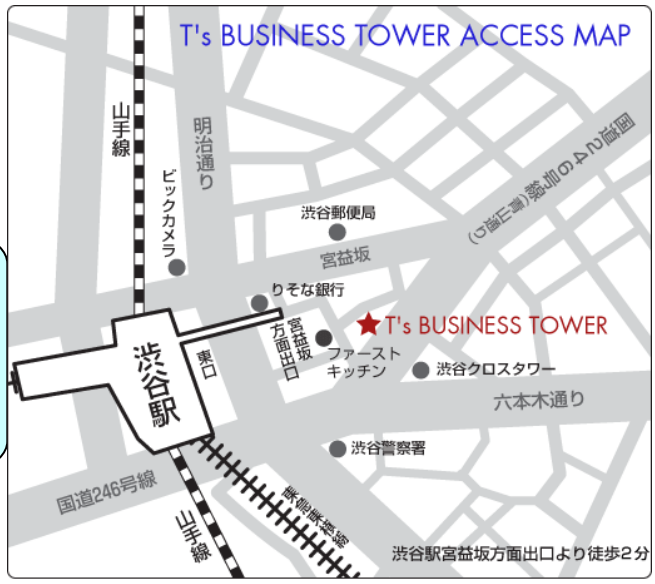
＊ 今後の主な予定（平成 16 年度）

- 2 月中に啓蒙活動に使用する冊子の印刷を完了
- 3 月中に東京及び関西(京都)で啓蒙活動講演会開催予定
- 雷保護システム設計施工研修に使用するテキストの作成

◆◆事務局からのお知らせ◆◆

昨年 11 月 1 日に普及協会発足以降、高井理事のご好意でお世話になって来ました銀座の東京事務所が手狭になった為に、吉野監事のご好意により渋谷に移転したことは広報 1 号でお知らせした通りです。

10 月末まで東京事務所を切り盛りして頂いた小林さんにかわって、11 月 1 日からは山口さんにお願いすることになりました。改めて新事務所の住所等の紹介をしておきます。



小林さんにかわり 11 月よりお世話になっております。まだまだ不慣れで皆様にご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、何卒宜しくお願い致します。
事務所の方に是非お立ち寄りください。

山口からの一言

〒150-0002東京都渋谷区渋谷 2-17-3　渋谷東宝ビル(T's BUSINESS TOWER)　8F
TEL･FAX　　03-5778-9524

研修修了者の資格名の募集！！

来年度から実施の「雷保護システムの検査及び保守点検技術者研修」を終了した者に対し資格者名を付与して欲しいとの要望を、全日本電気工事業工業組合連合会（以下、全日電工連）から頂きました。研修は、全日電工連と業務協力して実施し、受講者の殆どは全日電工連の構成員の皆さんとなります。

「雷保護技術者」では雷を守るような感じだしなーといった意見もありました。
新しい分野で活躍する技術者にふさわしい資格名を募集いたします。
期限は設けません、思いつくままに随時お知らせください。お待ちしております。

東京事務局　山口宛　Email:yamaguchi@lpsra.com

◆◆編集後記◆◆

理事長挨拶にもありましたように、当普及協会はいよいよ「飛翔」の年を迎えました。今年度中に東京と関西において各１回の啓蒙活動を実施し新年度から全国各地で於順次実施する予定の啓蒙活動や研修活動等の準備作業が佳境を迎えました。また「雷相談室」の開設に当たっての準備は「業務実行基準検討委員会」において進められています。

東京事務所の山口さんは孤軍奮闘しております。渋谷近辺にお越しの節は一足伸ばし彼女の「激励」にお立ち寄りください。スイートな物少々と一緒にお立ち寄りいただければ熱烈歓迎です。

寒さの厳しい折から皆様にはご健康にくれぐれも留意されてご活躍ください。

３月になりましたら新年度の会費をお願いいたします。その節にはよろしくお願いいたします。

副理事長　横田　満人記